

平成28年度

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート			報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾					報告年月日:2017/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	連携・体験事業	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成28年4月～平成29年3月(5回)	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
			—	—	—	—	—	—
地域	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	
		発信事業・プロモーション事業	—	—	—	—	—	
		癒とりフェスタ事業	—	—	—	—	—	
		連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
		発信事業・プロモーション事業	プロモーション活動 とかちマルシェ「とかち観光案内所」	トカプチ雄大空間	平成28年9月3日(土)～9月4日(日)	事務局2名、ライフコンシェルジュ延12名	—	とかちガーデン・スイーツ・温泉チケットのPRとともに、来年度当チケットのプレゼント企画としてアンケートを実施して、市場調査を行った。管内外のお客様から得られた情報をもとに、当チケット事業の運営に活かしていく予定である。
			トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	平成28年4月～9月	エリア内17拠点	A — 4	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス(観光パンフレット設置ラック)」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中6回配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間ルート		報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾						報告年月日:2017/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。		トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	平成29年3月発行	主催者:10名程度	A — 3	昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度はサイズ・デザイン等全面リニューアルし、内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。
		人材育成事業	ライフコンシェルジュ事業 ※活動を行ったイベントは下記の通り	トカプチ雄大空間	平成28年4月～平成29年3月	ライフコンシェルジュ(登録人数:42人)		十勝の魅力・生活の楽しさを伝える「ライフコンシェルジュ」事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ 十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象とした外国人対応講習会、現地調査を実施。マップへのライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し、おすすめ情報として「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」に反映するなど、感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。
			①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間 ※十勝川温泉旅館協同組合	平成28年4月29日～10月23日	ライフコンシェルジュ延96人を派遣		
			②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」ガイド派遣	トカプチ雄大空間 ※(一社)帯広観光コンベンション協会	平成28年7月2日～8月14日	ライフコンシェルジュ延17人派遣		
			③とかちマルシェ・十勝観光案内所(ライフコンシェルジュ出勤)	とかちマルシェ実行委員会	平成28年9月3日(土)～9月4日(日)	ライフコンシェルジュ延12名参加		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間ルート			報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾					報告年月日:2017/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28						
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
			④ラリー北海道2016 ガイド派遣	ラリー北海道大会事務局	平成28年9月25日(日)	ライフコンシェルジュ延2名 派遣	A ― 2		
			⑤メロディーラインカ フェ ガイド派遣	音更町商工会	平成28年8月27日(土)、 9月25日(日)	ライフコンシェルジュ延4名 派遣			
			⑥「おびひろ昔ばなし 周遊バス」(ライフコン シェルジュ協力)	十勝圏二次交通活性化 推進協議会	平成28年7月23日(土) ～8月21日(日)	ライフコンシェルジュ延10名 協力			
					平成28年12月23日(金) ～平成29年1月22日 (日)	ライフコンシェルジュ延8名 協力			
			⑦十勝川温泉バスガイ ドツアー ガイド派遣	十勝川温泉観光協会	平成28年11月30日(水) ～平成28年12月21日 (水)	ライフコンシェルジュ延4名 派遣			—
			⑧食と農の景勝地・視 察対応	食と農の景勝地・十勝 協議会	平成28年10月3日(月)、 12月14日(水)	ライフコンシェルジュ延2名 派遣	—		
			⑨道東ブロック会議・現 地見学会対応	トカプチ雄大空間	平成28年10月25日(火)	ライフコンシェルジュ2名 協 力			
	販売促進事業	とかちガーデン・スイー ツ・温泉チケット	トカプチ雄大空間	平成28年4月20日(水) ～10月10日(月・祝)	主催者:10名程度	A ― 1	観光施設、市内ホテル、観光案内所等70 箇所でチケットの委託販売を実施した。今 後も定期的な収入になるよう、チケットの販 売先を広げていく予定である。		
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美 化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、 環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、 環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人 口の増加を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—	

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

【概要】 今年度で7年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（通称：GSOチケット）を販売。1冊1,600円で最大4,100円分利用可能なチケット。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていくと同時に、利用施設や商品の幅を増やして更に魅力あるチケットとなるよう努めていく。

【販売・実施期間】 平成28年4月20日（水）～10月10日（祝）

【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア

【チケット対応施設】 上記エリア内のガーデン、スイーツ、温泉外53施設（北の屋台20店舗含む）

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売枚数】 1,862冊（利用率83.2%）



チラシ(表面)

(チラシ中面)



(チケット)



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象とした外国人対応講習会、現地調査を実施。マップへのライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し、おすすめ情報として「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」に反映するなど、感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。

【活動期間】 平成28年4月～平成29年3月

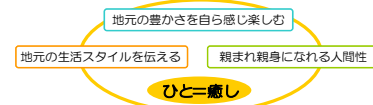
【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：42名 ガイド活動実施先は以下のとおり ライフコンシェルジュとは

- ①シーニックカフェ十勝が丘展望台（96名）／ ②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」（17名）
- ③とかちマルシェ・十勝観光案内所（12名）／ ④ラリー北海道2016（2名）／ ⑤メロディーラインカフェ（4名）
- ⑥「おびひろ昔ばなしバス周遊バス」（11名）／ ⑦十勝川温泉バスガイドツアー（4名）
- ⑧食と農の景勝地・視察対応（4名） ⑨道東ブロック会議・現地見学会対応（2名）

LIFE+CONCIERGE
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人
ご当地風土アドバイザー



とかちマルシェ



現地調査



外国人対応講習会



意見交換会

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、お客様の要望も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成28年4月～9月

【設置箇所】17カ所（参加は19事業所）

【配達回数】6回



＜トカプチ情報ボックス＞

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月:2017/3/31
-----------------------------	------------------------------------	----------------

活動団体
十勝バス(株)、(株)大地、真鍋庭園苗畑、(株)丸勝十勝ヒルズ開発部、(有)紫竹ガーデン遊華、(一社)帯広観光コンベンション協会、東洋印刷(株)、北の起業広場協同組合、BluePine、(有)小枝産業、とかち帯広デザイン振興協議会、十勝川温泉旅館組合活性化委員会、(有)プラン82、芽室町観光物産協会、(株)エコERC、(一社)帯広物産協会、(株)おびひろ市民ラジオ (FM-WING)、ステラ★ほんべつ道の駅、(株)道の駅うらほろ直売会、(株)十勝トテッポ工房、(有)NEEDS、NPO法人猫たちを守る十勝Wishの会、とよこ物産直売会、プレミアムホテルCABIN帯広、池田町観光協会、ファミリーとんかつの店 あかずきん、パン工房カントリーブラン、(有)めむろプランニング、もみの木、十勝シティデザイン、(株)あさの、(有)かし和家、(有)レストラン大和、十勝幕別温泉グランヴィリオホテル、(株)リョーワ、帯広建設業協会(広報情報化推進委員会)、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、(有)北海道ホーブランド、(株)ボーヤ・ファーム、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、SPCとかちむら(株)、芽室町新嵐山荘、(有)レアス、(株)十勝農園、NPO法人十勝多自然ネット、松久園、(株)オフィスグリーンテール、カンナ、カンナ、エクスクラメーション、帯広の森・はぐくむ、NPO法人あうるず、道東道とかち連携協議会、(一社)帯広青年会議所、(株)いただきますカンパニー、十勝圏二次交通活性化推進協議会、ライフスタイルツアーズ、(株)サムライブロデュース、帯広商工会議所

ルート運営体制(活動団体)
総会 (運営代表者会議) 役員会 代表・副代表者会議 事務局 監事 組織活性化室 楽しむ部会 知る部会 感じる部会 活動方針 温泉・宿泊・景観・花・アクティビティを中心に十勝の魅力ある施設の連携を図り、より楽しめるプログラムを構築する。 活動方針 十勝の開拓や馬文化などの歴史の背景をたどり、現在の大規模農場から生まれた自然の恵みを北の屋台やお菓子などの名産品を通して発信する。 活動方針 各部会との情報共有や研修会などを通じて、新たなイベントやツアー、キャンペーンなどの企画をはじめ、情報センター設置、情報コンシェルジュの育成を行う。 (有)紫竹ガーデン遊華、(一社)帯広観光コンベンション協会、東洋印刷(株)、(一社)帯広物産協会、(株)おびひろ市民ラジオ (FM-WING)、ステラ★ほんべつ道の駅、(株)道の駅うらほろ直売会、(株)十勝トテッポ工房、(有)NEEDS、NPO法人猫を守る十勝Wishの会、とよこ物産直売会、プレミアムホテルCABIN帯広、池田町観光協会、ファミリーとんかつの店あかずきん、パン工房カントリーブラン、(有)めむろプランニング、もみの木、十勝シティデザイン、(株)あさの、(有)かし和家、(有)レストラン大和、十勝幕別温泉グランヴィリオホテル、(株)リョーワ 北の起業広場協同組合、BluePine、(有)小枝産業、帯広建設業協会(広報情報化推進委員会)、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、(有)北海道ホーブランド、(株)ボーヤ・ファーム、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、SPCとかちむら(株)、芽室町新嵐山荘、(有)レアス、(株)十勝農園、NPO法人十勝多自然ネット、松久園、(株)オフィスグリーンテール とかち帯広デザイン振興協議会、十勝川温泉旅館組合活性化委員会、(有)プラン82、カンナ、カンナ、エクスクラメーション、帯広の森はぐくむ、NPO法人あうるず、道東道とかち連携協議会、(一社)帯広青年会議所、(株)いただきますカンパニー、十勝圏二次交通活性化推進協議会、ライフスタイルツアーズ、(株)サムライブロデュース

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	総会(運営代表者会議)	●4/11総会												
	部会・役員会	●4/5 役員会 ●4/19 知る部会	●5/16 知る部会 ●5/17 感じる部会	●6/3 役員会 ●6/9 感じる部会 知る部会	●7/5 知る部会 ●7/29 楽しむ部会	●8/26 知る部会	●9/5 ●9/13 知る部会	●10/27 知る部会	●11/8 ●11/28 楽しむ部会 ●11/9 知る部会	●12/22 感じる部会	●1/17 楽しむ部会		●3/8 感じる部会 ●3/24 感じる部会 知る部会	
	十勝SBW連絡会議				● 7/1								● 3/16	
	その他連携会議(人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト)	●4/15 総会							●11/10 全体会議					

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2017/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施				● 7/8				● 11/7					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2017/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成28年4月～平成29年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成28年7月～平成29年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、今年度は道の駅(3駅)においてもパネルの展示を行い十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		